

平成30年度 富里市地域公共交通会議

平成31年2月4日



(1) さとバス及びデマンド交通の利用状況等について

- ① さとバス・デマンド交通の概要
- ② これまでの取組
- ③ さとバス利用状況
- ④ デマンド交通利用状況

① さとバス・デマンド交通の概要

Planning Section of Tomisato City

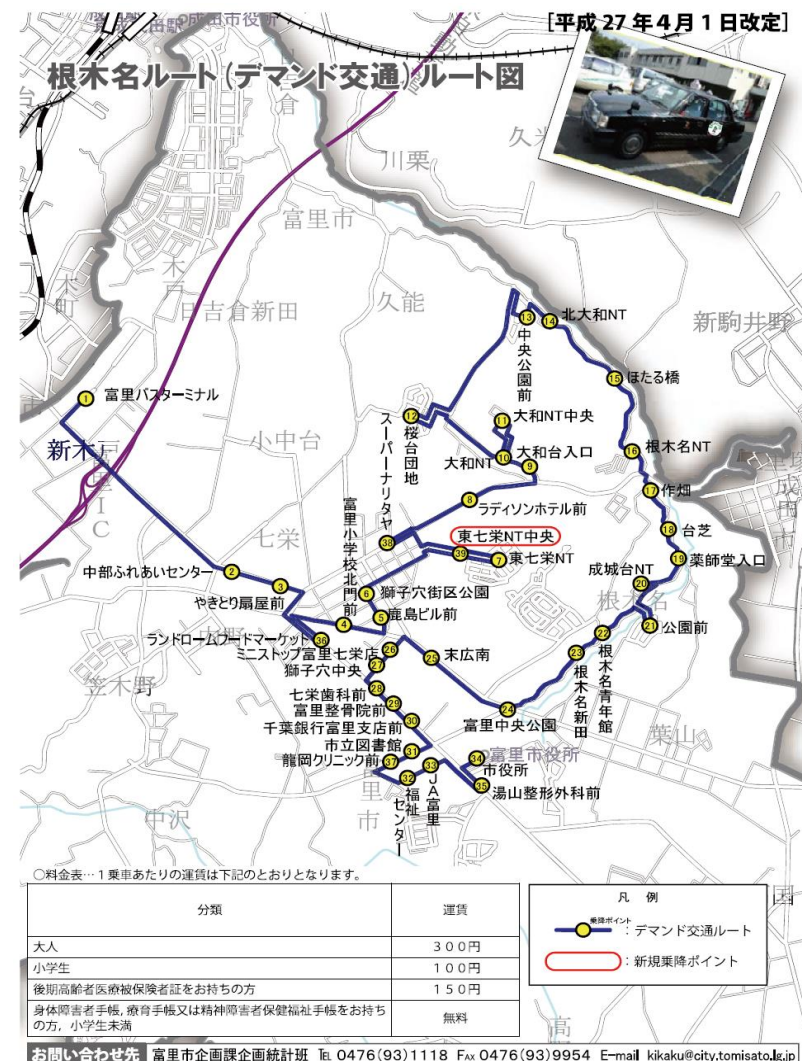
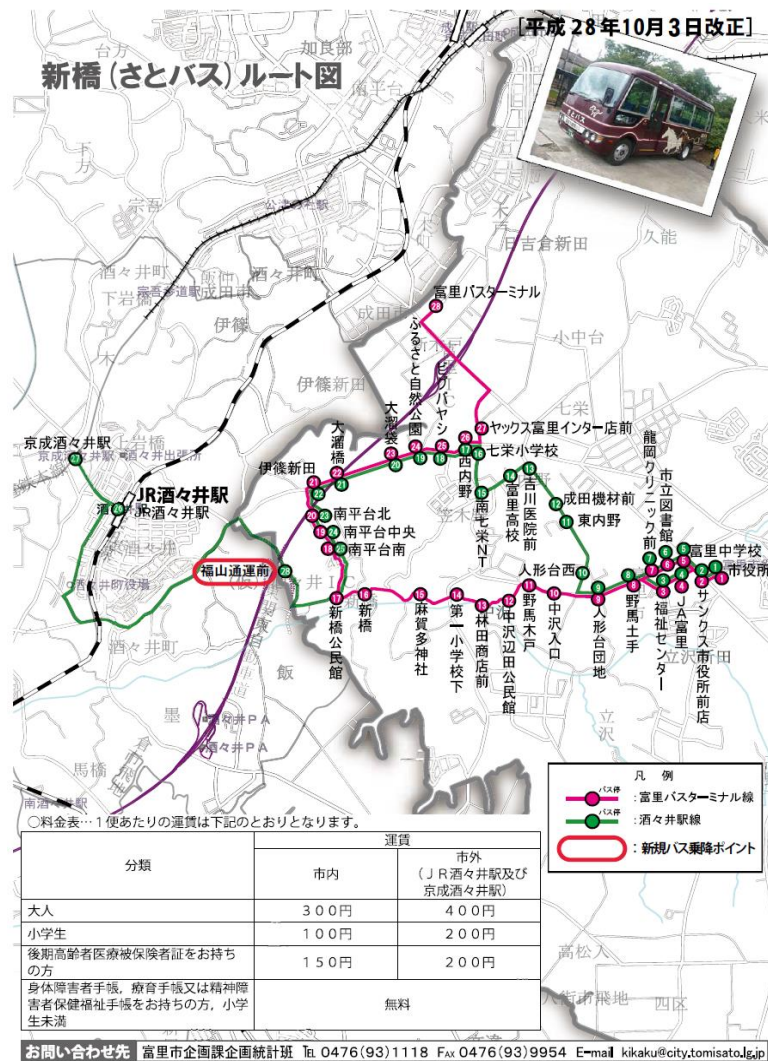
さとバス		デマンド交通		
	新橋・中沢・七栄地域	根本名ルート	十倉ルート	高松ルート
■運行形態	定時定路線型、停留所方式、乗合運行	完全予約型、停留所方式、乗合運行		
■運行方法	- ダイヤに合わせ運行し、バス停で利用者を乗降させる - 市役所と JR・京成酒々井駅間を往復運行する酒々井駅線と市役所と富里バスターミナル間を往復運行する富里バスターミナル線で運行	- 予め所定の停留所、ダイヤを設定し、利用者からの予約があった場合のみ運行する。所定の停留所で利用者を乗降させる - 市役所と富里バスターミナル間を往復運行する根本名ルートと富里バスターミナルと八街駅間を往復運行する十倉ルートと高松ルートがある。		
■車両	さとバス車両（2台）	セダンタイプのタクシー車両（乗車定員3名まで） 乗車定員を超えた場合は別の車両を用意し対応する		
■ルート・バス停（停留所）	従前のさとバス停留所に加え、富里バスターミナル、JR・京成酒々井駅等を追加	- 従前のさとバス停留所を基本とし、その他の公共交通機関（鉄道、高速バス、路線バス）への乗継や、主要な店舗への連絡を確保 - 路線バスとの乗継ポイント（中部ふれあいセンター）と富里バスターミナル間は、路線バスの運行に配慮し乗降不可 従前のさとバス停留所に追加された主な乗降ポイント - 中部ふれあいセンター - 富里バスターミナル 従前のさとバス停留所に追加された主な乗降ポイント - 中部ふれあいセンター - 富里バスターミナル - 八街駅 従前のさとバス停留所に追加された主な乗降ポイント - 中部ふれあいセンター - 富里バスターミナル - 八街駅		
■運行日	祝日を除く月～金曜日（年末年始を除く）			
■運行本数	酒々井駅線 10 便 富里バスターミナル線 9 便	12 便	12 便	12 便
■運行時間	酒々井駅線 午前 6 時台～午後 3 時台で運行 富里バスターミナル線 午前 7 時台～午後 3 時台で運行	午前 8 時台～午後 5 時台で運行	午前 8 時台～午後 5 時台で運行	午前 8 時台～午後 5 時台で運行

■運賃

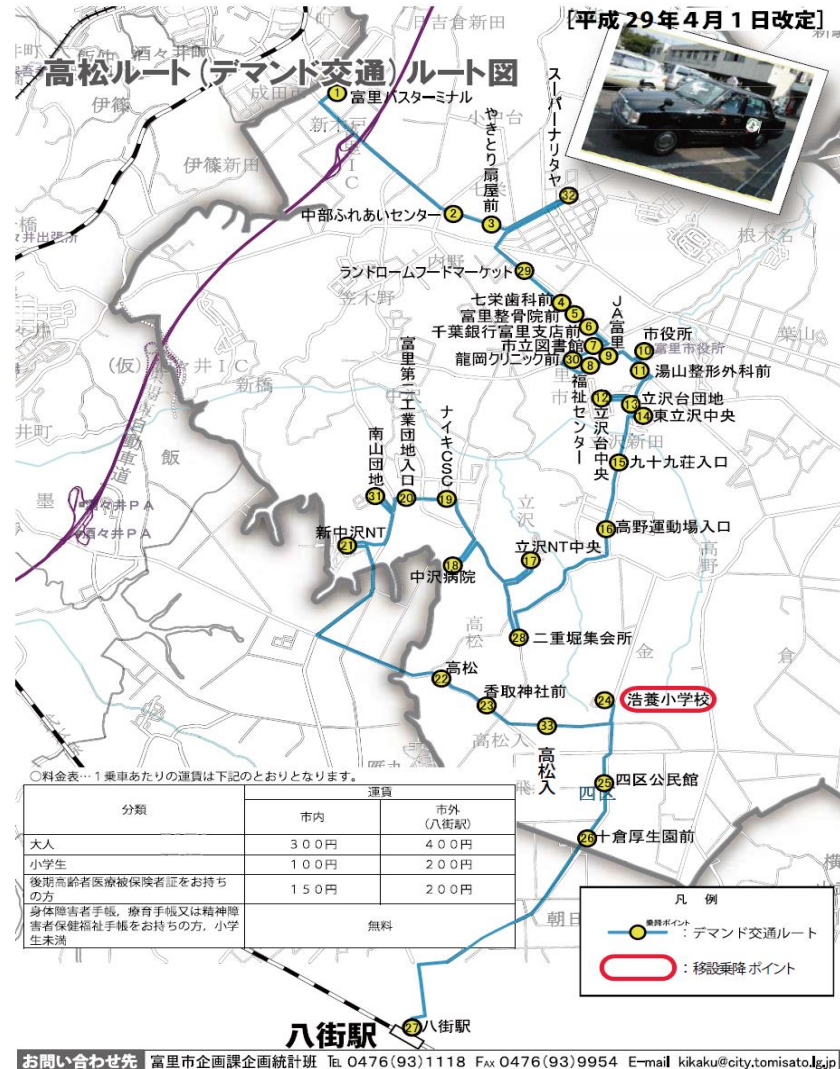
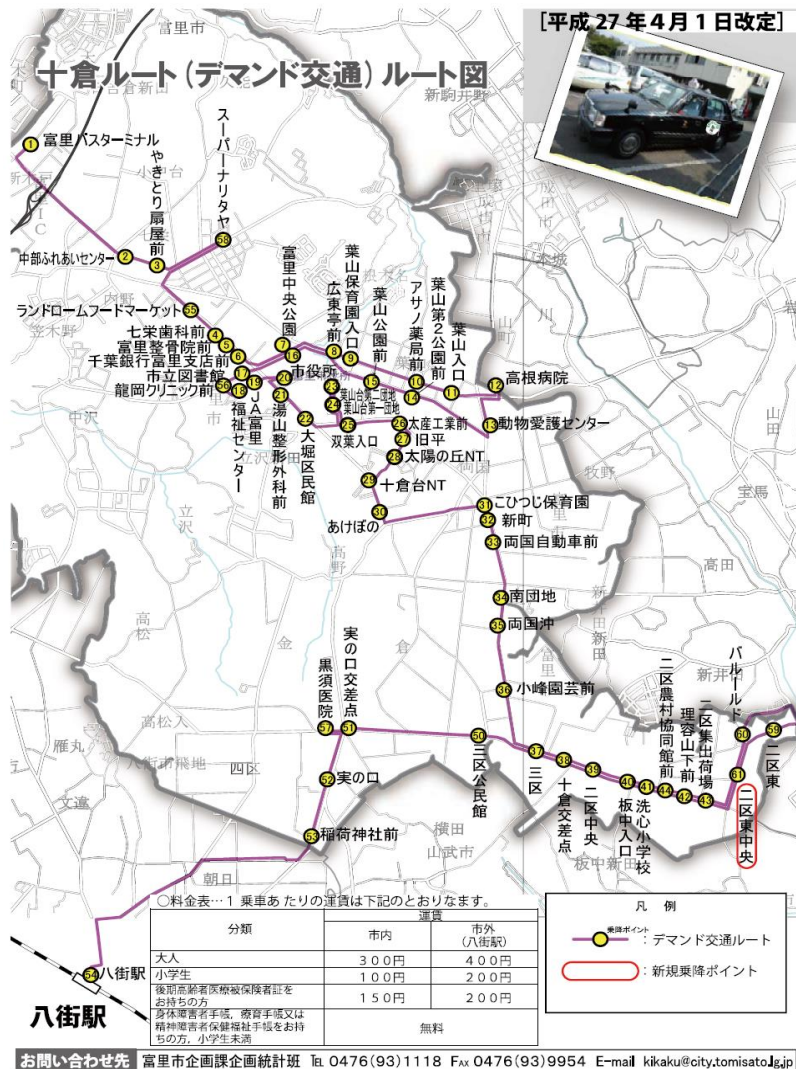
分類	市内	市外 （酒々井駅・八街駅）
大人	300 円	400 円
小学生	100 円	200 円
後期高齢者医療被保険者証所持者	150 円	200 円
身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳所持者、小学生未満	無料	

※割引制度として回数券を発行する。

交通体系図



交通体系図



② これまでの取組

さとバス

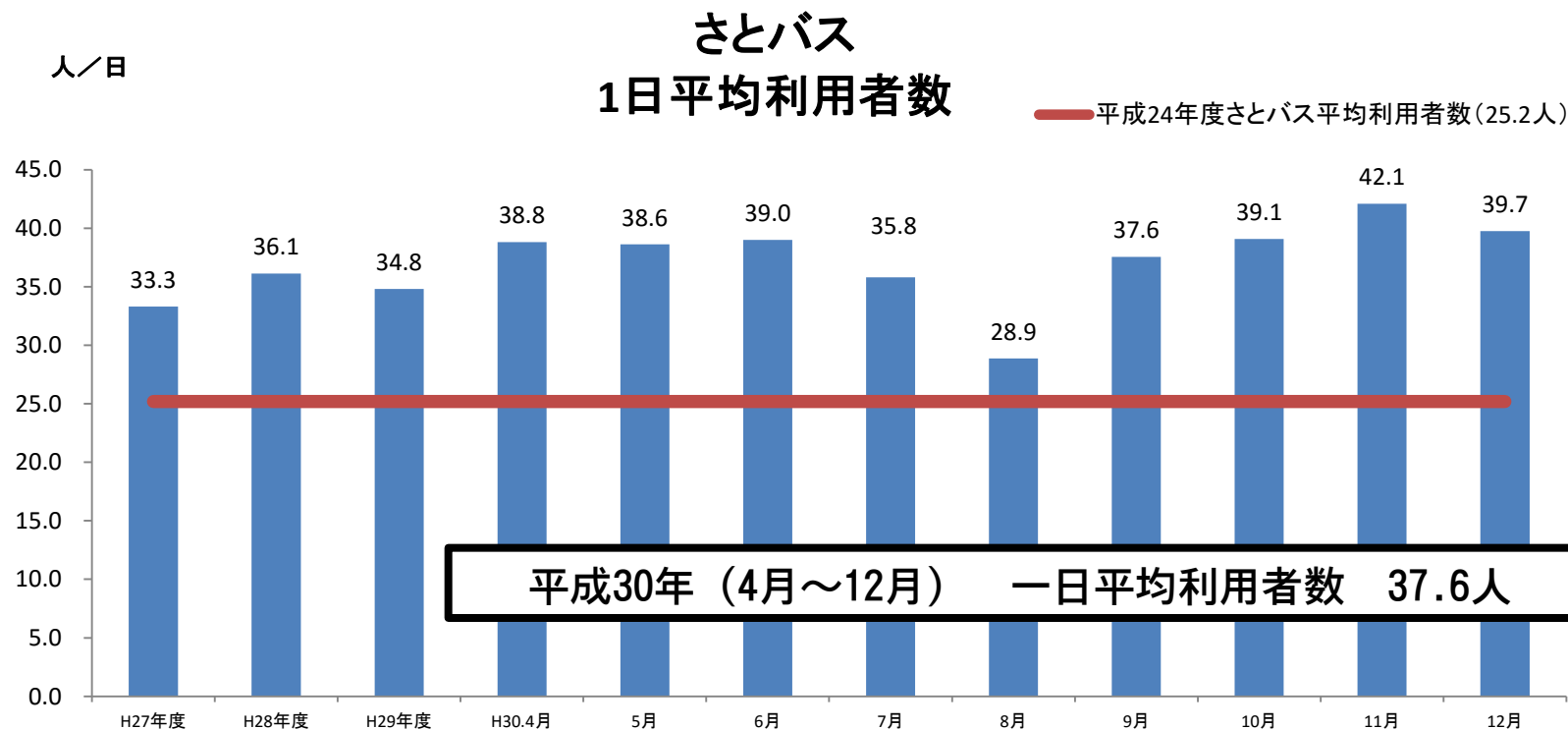
平成25年度	第1次実証運行(H25.4.1～) ◆ JR酒々井駅・富里BTにルート拡大 ◆ 増便(7便→10便) ◆ 富里BTを発着地点とする循環型運行 第2次実証運行(H25.10.1～) ◆ 夕方の便を昼間の時間帯に変更 ◆ 停留所の追加(2箇所)
平成26年度	第3次実証運行(H26.4.1～) ◆ 停留所の追加(1箇所) 第4次実証運行(H26.10.1～) ◆ 循環型から酒々井駅線と富里BT線の2ルートへ再編 ◆ 京成酒々井駅への接続
平成27年度	本格運行(H27.4.1～) ◆ 南平台ルートの変更 ◆ 富里BT線第2便のダイヤ変更 ◆ 増便(富里BT線:8便→9便)
平成28年度	◆ 停留所の追加(H28.10.3～) 「福山通運前」停留所

デマンド交通

平成25年度	第1次実証運行(H25.4.1～) ◆ JR八街駅・富里BTにルート拡大 第2次実証運行(H25.10.1～) ◆ 増便(8便→12便) ◆ 停留所の追加(3箇所)
平成26年度	第3次実証運行(H26.4.1～) ◆ 停留所の追加(4箇所) 第4次実証運行(H26.10.1～) ◆ 停留所の追加(3箇所)
平成27年度	本格運行(H27.4.1～) ◆ 停留所の追加(2箇所)
平成28年度	◆ 停留所の追加(H28.4.1～) 「高松入」停留所(高松ルート)

③ さとバス利用状況

- さとバスの1日平均利用者数は、本格運行を開始した平成27年度は33.3人、平成28年度は36.1人と増加している。平成29年度は34.8人とやや減少したものの、平成30年度(4月から12月)の平均は37.6人となっており、再び増加傾向にある。
- 本格運行以降は、見直し前(平成24年度)を上回る平均利用者数にある。

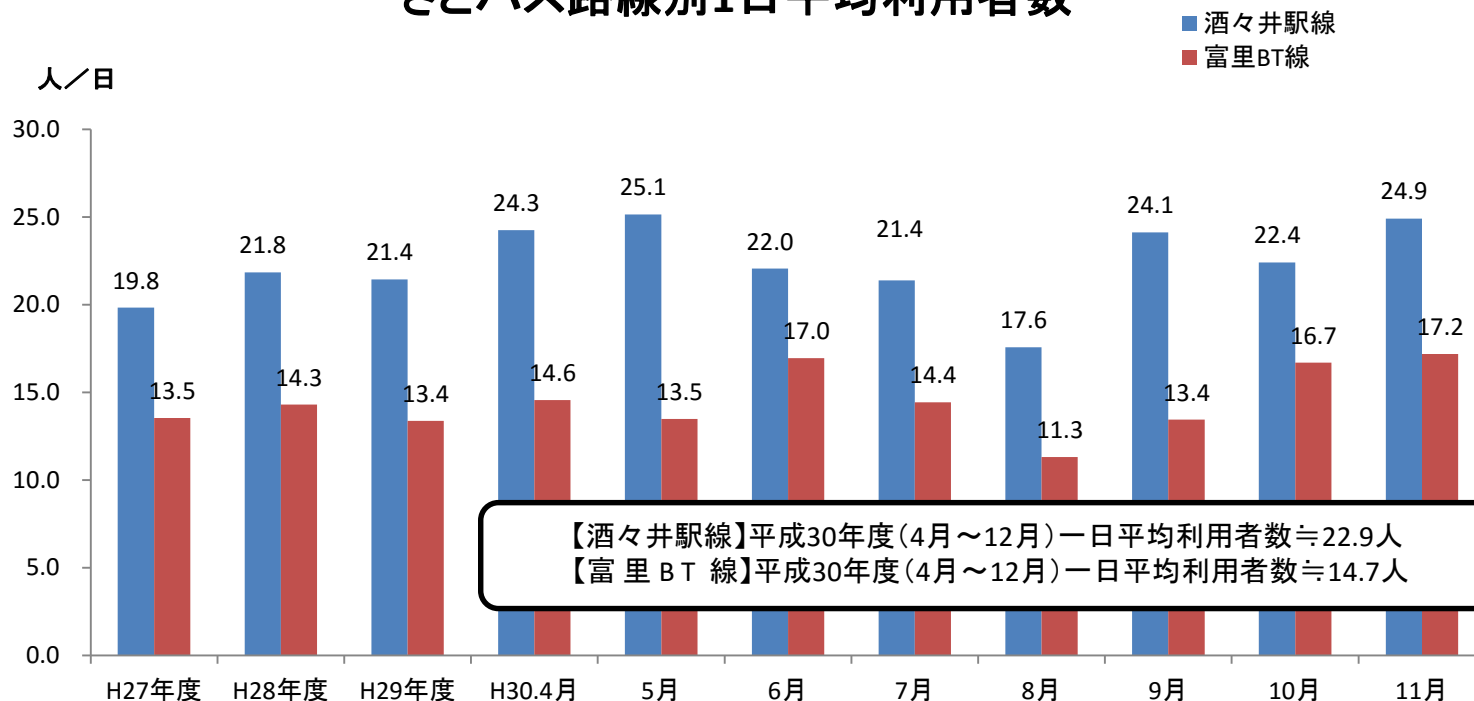


さとバス利用状況(路線別)

Planning Section of Tomisato City

- 本格運行開始以降で見ると、酒々井駅線は、平成27年度19.8人、平成28年度21.8人、平成29年度21.4人、平成30年(4～12月)22.9人となっている。
- 富里BT線は平成27年度13.5人、平成28年度14.3人、平成29年度13.4人、平成30年(4月～12月)14.7人となっている。
- 酒々井駅線の方が富里BT線よりも利用者数が多い。

さとバス路線別1日平均利用者数



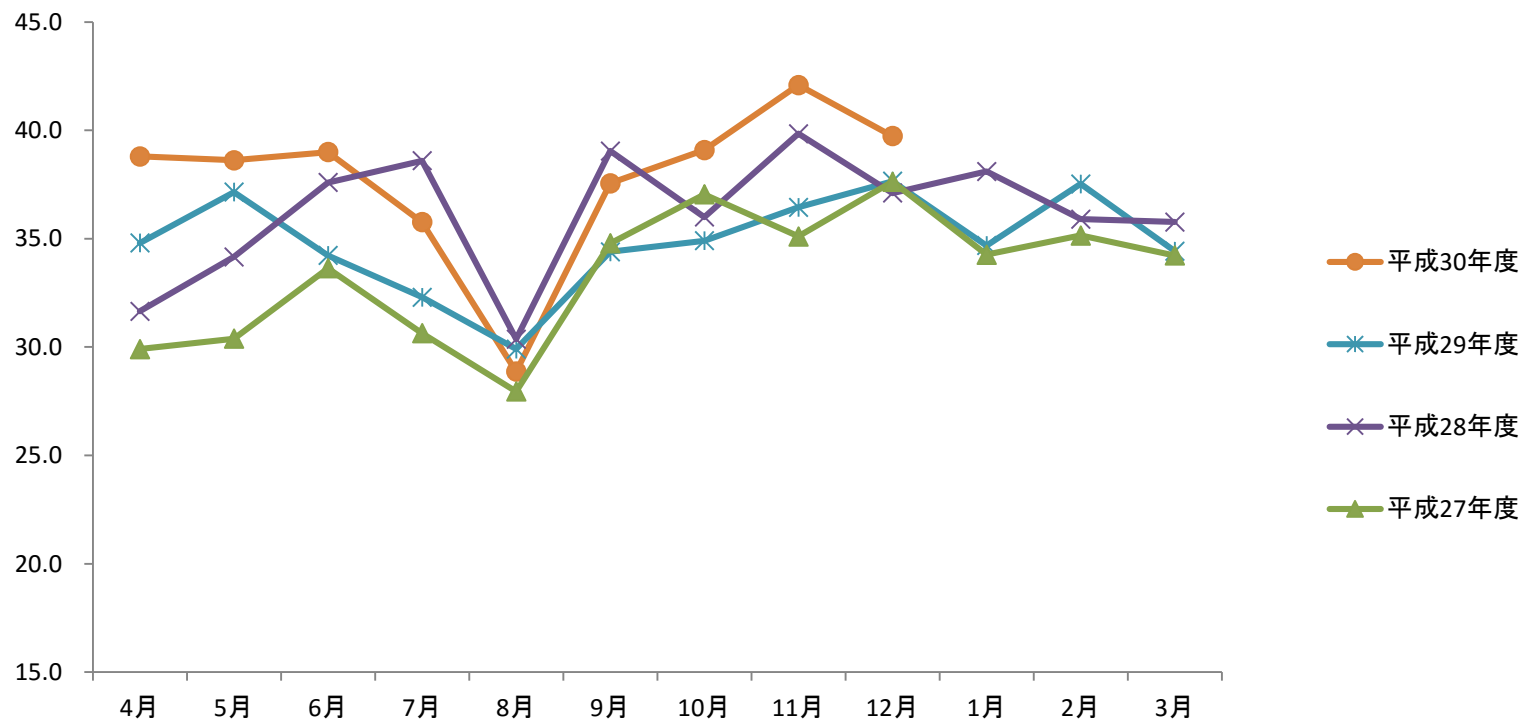
さとバス利用状況(対前年度同月比)

Planning Section of Tomisato City

- 平成27年度の本格運行開始以降、8月で利用者数の落ち込みが見られるものの、各月で同等の利用者数で定常的な利用傾向にある。

さとバス
前年度同月比1日平均利用者数

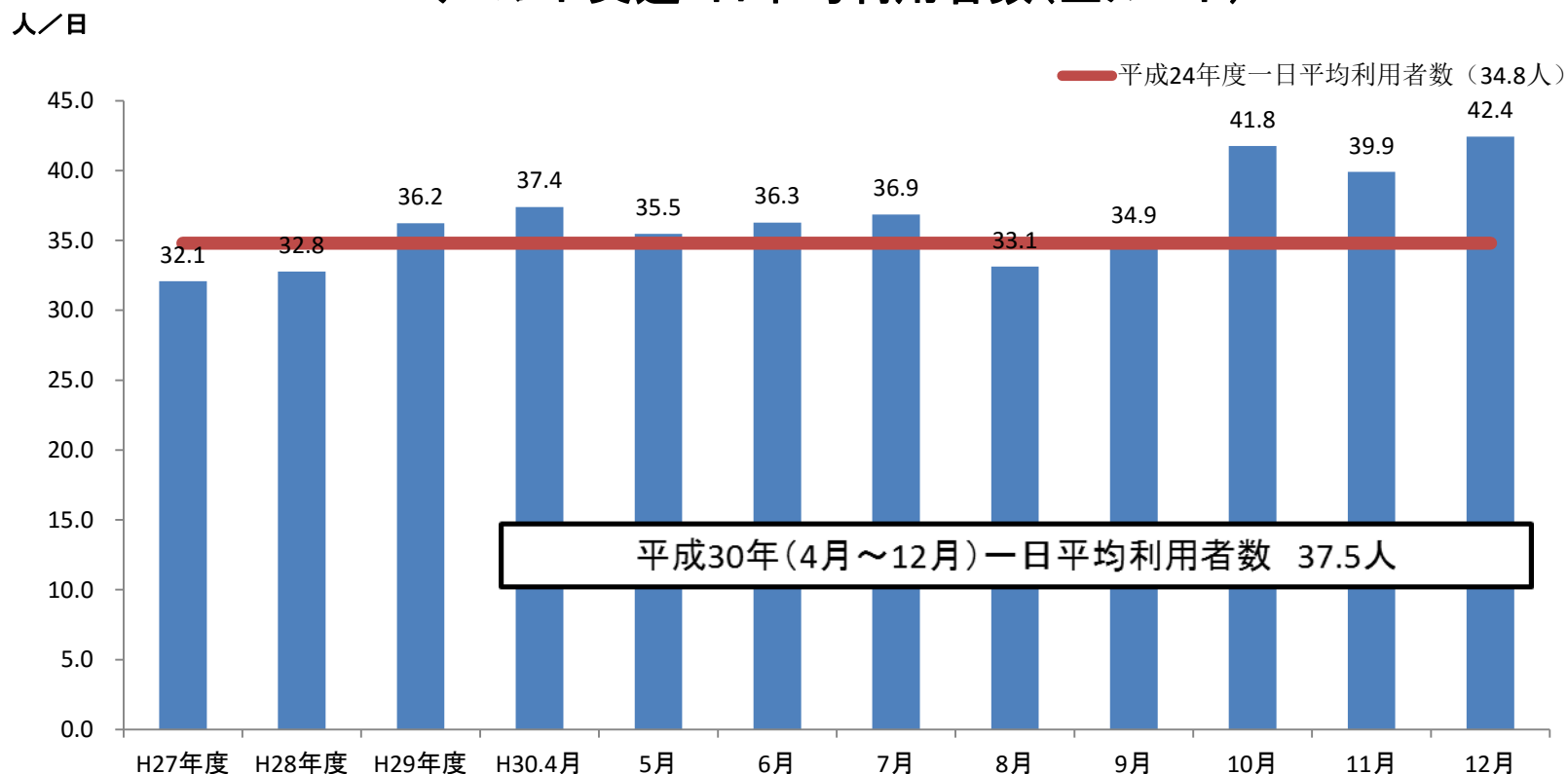
人／日



④ デマンド交通利用状況

- 全ルートの一〇日平均利用者数は、本区運行開始の平成27年度32.1人、平成28年度32.8人、平成29年度36.2人と年々増加している。平成30年(4月～12月)は37.5人となっており、引き続き増加傾向にある。

デマンド交通1日平均利用者数(全ルート)



デマンド交通利用状況(根木名ルート)

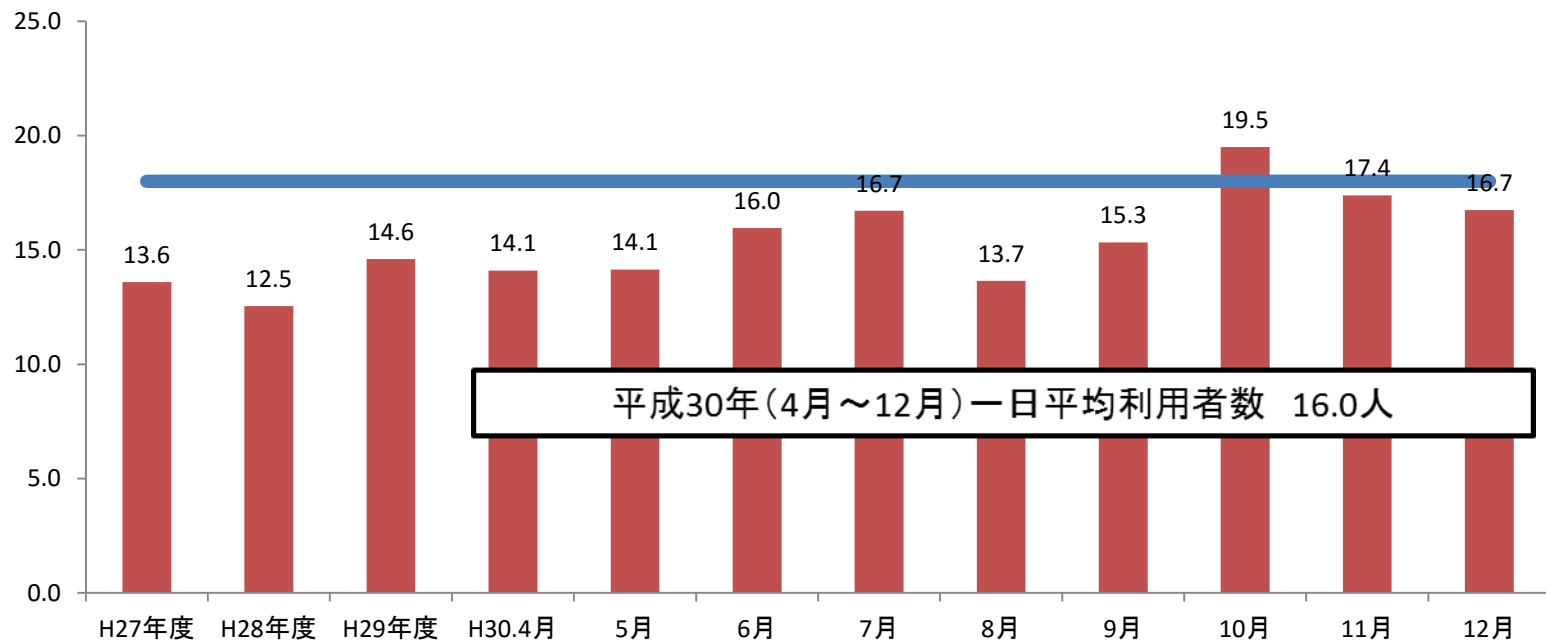
Planning Section of Tomisato City

- 根木名ルートの一日常平均利用者数は、平成27年度13.6人、平成28年度は12.5人と減少したものの、平成29年度14.6人、平成30年度(4月～12月)は16.0人となっており再び増加傾向となっている。
- 本格運行開始(平成27年度)以降は、実証運行前の循環バス時の数値に着実に近づいている。

デマンド交通1日平均利用者数(根木名ルート)

人/日

— 平成24年度一日平均利用者数(18.0人)



デマンド交通利用状況(十倉ルート)

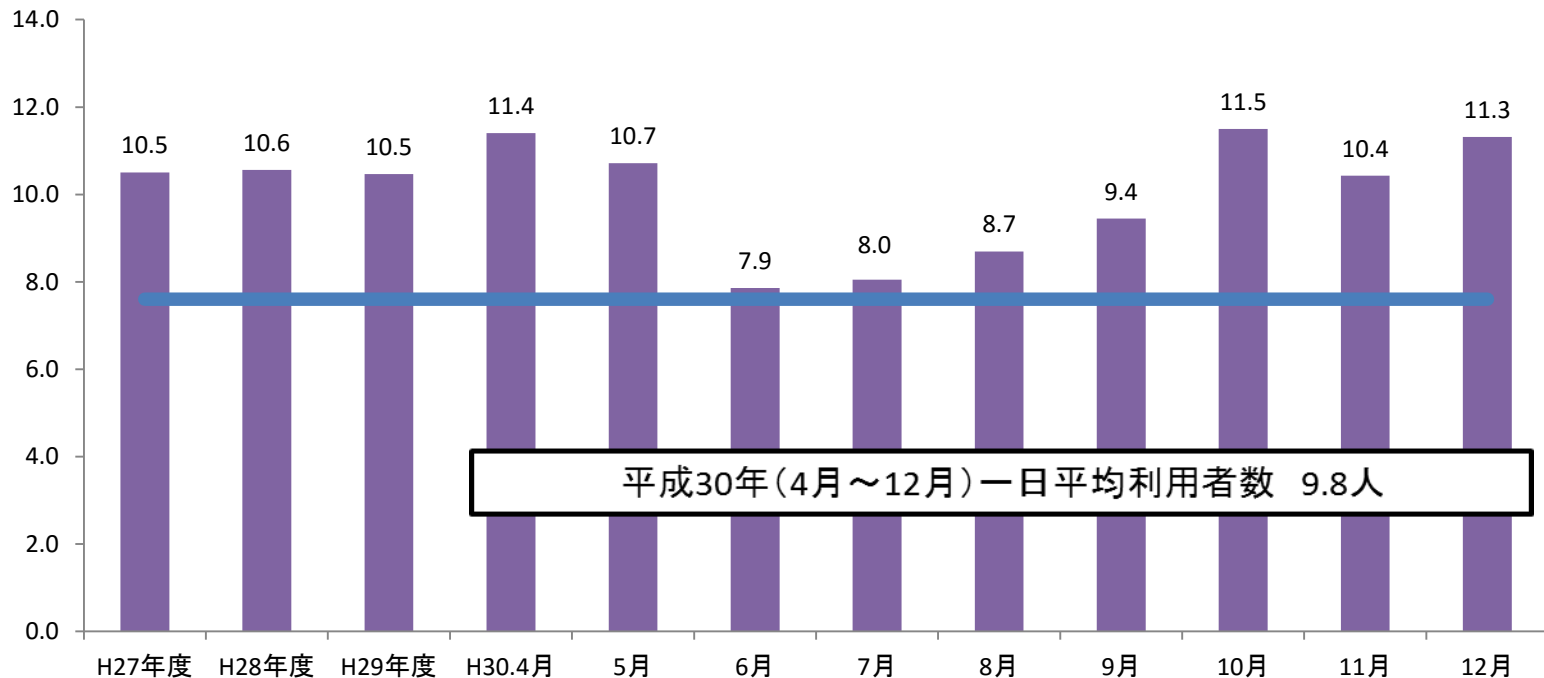
Planning Section of Tomisato City

- 十倉ルートの一日本平均利用者数は、本格運行開始の平成27年度は10.5人、平成28年度10.6人、平成29年度は10.5人と、ほぼ横ばいで推移している。
- 平成30年度(4月から12月)は9.8人となっている。

デマンド交通1日平均利用者数(十倉ルート)

人/日

— 平成24年度一日平均利用者数 (7.6人)



デマンド交通利用状況(高松ルート)

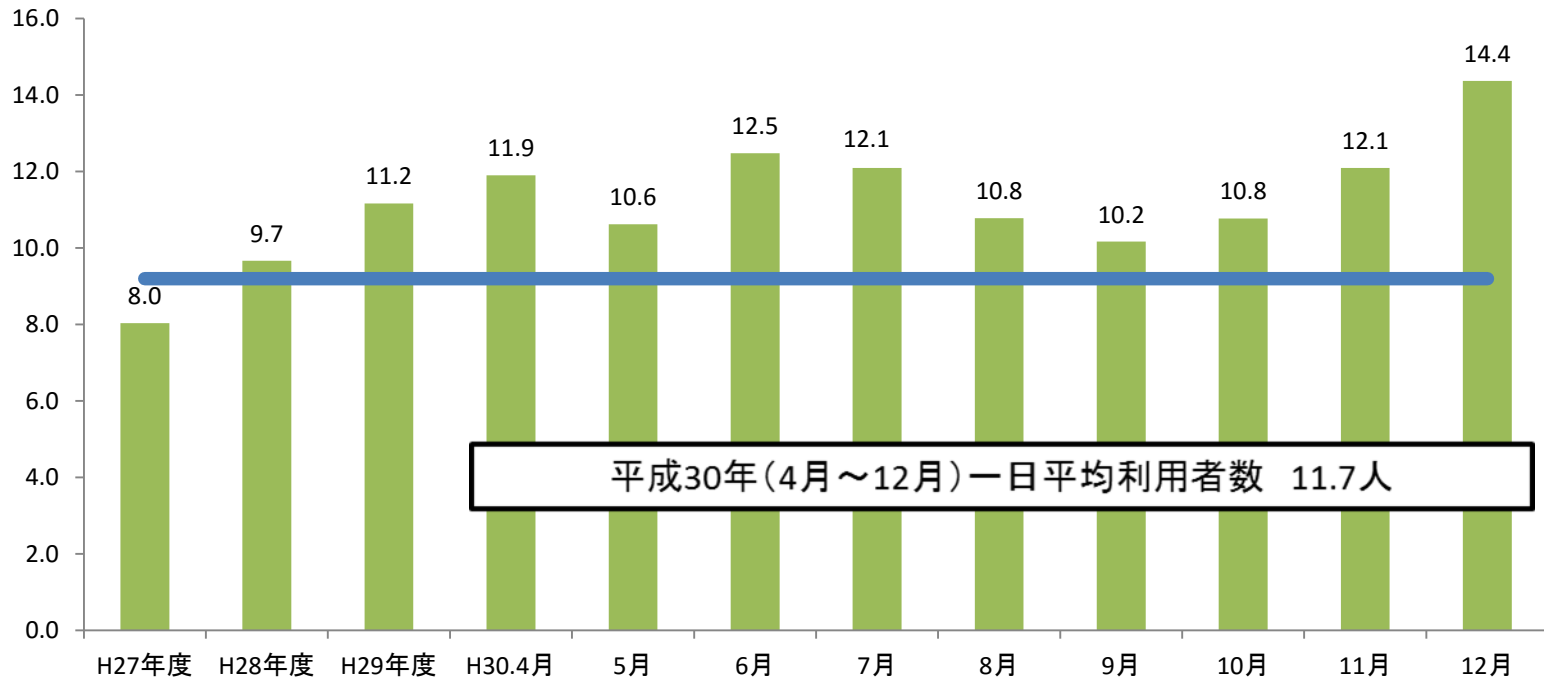
Planning Section of Tomisato City

- 高松ルートの一日本平均利用者数は、本格運行開始以降、平成27年度8.0人、平成28年度9.7人、平成29年度11.2人と年々増加している。
- 平成30年度(4月から12月期)は11.7人となっている。
- 平成28年度以降、見直し前(平成24年度)の平均利用者数を上回っている。

デマンド交通1日平均利用者数(高松ルート)

人/日

— 平成24年度一日平均利用者数(9.2人)



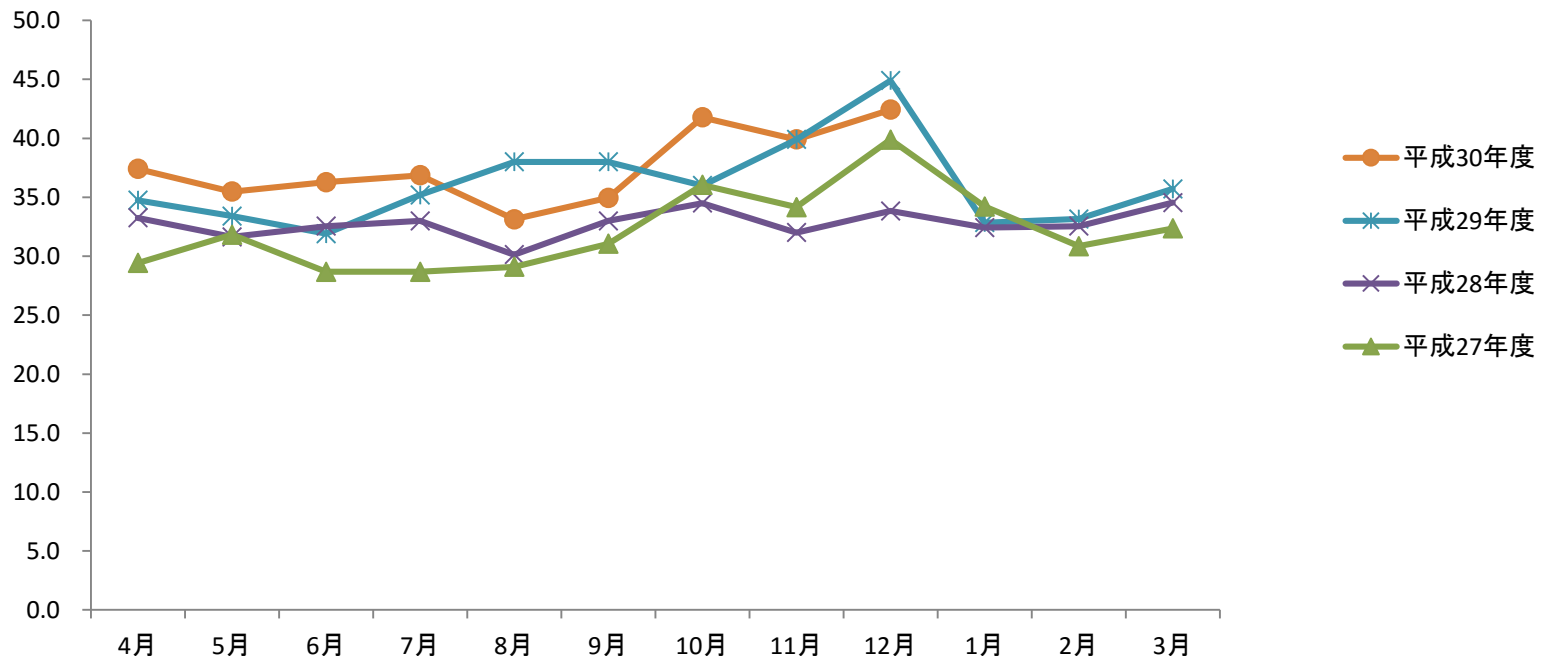
デマンド交通利用状況(対前年度同月比)

Planning Section of Tomisato City

- 平成29年度においては、他年度において利用者数が落ち込みを見せる7月から8月にかけての利用者数が増加しているが寒冷等の影響もあり、1月から3月が落ち込んだ。
- 平成30年度(4月から12月)においては、4月から7月にかけて前年同月比を上回る利用者数を記録した。一方、猛暑の影響等もあり、8月及び9月の利用者数が多少落ち込んだものの、その後の第3四半期にかけては、堅調かつ安定的な利用者数で推移している。

デマンド交通
前年度同月比1日平均利用者数

人／日



デマンド交通登録者状況

Planning Section of Tomisato City

- 登録者数は、本格運行開始以降は同水準の登録状況であり、平成30年12月末現在で1,231人の登録がある。

年度	次期	登録者数	単年度合計
平成25年度	第1次実証運行(H25.4.1～)	449人	
	第2次実証運行(H25.10.1～)	85人	534人
平成26年度	第3次実証運行(H26.4.1～)	128人	
	第4次実証運行(H26.10.1～)	90人	218人
平成27年度			134人
平成28年度			150人
平成29年度			109人
平成30年度 (12月末現在)			86人
合計		(平成30年12月末現在) 1,231人 65歳以上の登録者数 795人 (全登録者数の約65%)	

デマンド交通料金区分別利用状況

Planning Section of Tomisato City

- 料金区分別利用者状況は、根木名、十倉、高松いずれのルートも後期高齢者の利用が最も多い。
- 全ルートでは後期高齢者の利用が48.4%で最も多く、次いで障害者等が30.3%、大人が20.8%、小学生0.5%の状況となっている。
- 後期高齢者の利用割合は年々増加傾向にあり、利用者の過半数に迫る状況である。

平成29年度料金区分別利用者割合

